



けやき

令和3年度 学校だより 11月号

桶川市立桶川東小学校

学校教育目標 未来へはばたけ けやきっ子 あかるく かしこく たくましく

児童数 1年 143人 2年 133人 3年 137人 4年 123人 5年 137人 6年 141人 ひまわり 6人 合計 820人
HP: www.okegawahigashi-es.ed.jp/

東小キャラクター
けやきん



桶川東小の開校

校長 杉田 勝弘

11月2日は、本校の開校記念日です。昭和54年4月に開校し、今年が43年目になります。そこで、今月号では桶川東小の開校にまつわるについて掲載させていただきます。

開校当時、学校の周りは民家が少なく、畑や山林等の自然に恵まれ、武蔵野の面影を多く残した場所でした。当時の桶川南小と桶川北小(2校は統合し現在は桶川小)と加納小の児童数の増加のため、3校より分離し、児童数963名、学級数25学級でスタートしました。また、校舎は近代建築方式と言われるピロティ、二階の集中昇降口、その上の三階にプレイルームを中央に変型コの字、各階に三角部屋を有した特徴ある校舎として建築されました。更に運動場は芝生で、緑の芝生と白の校舎がよく調和し、雄大な地に立つ姿だったそうです。また、校旗や校歌が制定されました。校旗にある校章は、「けやき」の葉3枚と3つ川で構成されており、この3とは、児童・保護者・教職員と知・徳・体の3つを意味し、その三者が互いに輪をもって協力し合うことと調和のとれた教育活動が推進できるよう深い願いが込められています。そして、宮澤章二氏作詞の校歌には、『花とみどりの学びやに、朝日のうたが生まれるよ』とこの詩のとおり、朝日が桶川東小学校の子供たちをいつも照らし、輝いていくという願いが込められています。そして、この記念式典がその年の11月2日に行われ、その日が開校記念日として続いているのです。

今月19日に行われる『けやき祭り』は、43年前に開催された開校記念祭が『学校祭』、『けやき集会』そして『けやき祭り』と名称がかわると共に、内容は少しずつかわっていますが、引き継がれているのだそうです。そんな伝統ある素敵な行事が残されていることに驚きとうれしさを感じています。そして、子供たちには、そんな素敵な伝統と開校の願いを感じてくれればと思っています。

新型コロナウイルス感染防止策 ～11月～

11月6日土曜日に授業公開を行います。密を避けるため、2校時は出席番号が奇数の児童の保護者の参観時間、3校時は出席番号が偶数の児童の保護者の参観時間とし、教室内の参観者を20人以下にします。ご理解ご協力よろしくお願いたします。

桶川東小学校経営方針

目指す児童像

『ドリーム&チャレンジ 夢に向かって挑戦しよう』

重点事項

- ・新型コロナウイルス感染防止策の徹底
- ・ICTを活用し、児童の学びの充実